

この商品は、ご家庭で調理をするために使うものです。ご使用になる前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、この商品には「家庭用品品質表示法に基づく表示」が別途添付されていますので、あわせてお読みください。

お使いいただく前のお願い


- 初めてご使用になる前に、取っ手やツマミにぐらつきやひび割れなどの不具合がないか安全性をご確認ください
- 本体底面にシールが貼ってある場合には、必ずシールをはがしてからご使用ください（ぬるま湯にシール部をひたすとはがしやすくなります）
- 「はがさないでください」という表記のあるシールは、重要な注意事項を記載していますので、はがさずにご使用ください
- 初めてご使用になるときは、食器用洗剤を使いスポンジ等で内面をよく洗ってください
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合にはご使用を取りやめ、お買い求めの販売店、または販売元までご連絡ください


珪瑯製品をもっと知っていただくために

- 珪瑯は金属の表面にガラス質を高温で焼きつけたもの。衛生的で耐酸性に優れ、調理した料理をそのまま冷蔵庫などで保存するのに最適です
- ガス火はもちろん、IH（電磁）調理器にも適しています（珪瑯製品の底径サイズにより、調理器に反応しない場合がありますので、IH調理器の取扱説明書等をご確認ください）
- 珪瑯表面はガラス質のため、非吸着性に優れ料理のおいが付きにくいうえ、滑らかで洗いがしやすいので、清潔さを保ちやすいという特徴を兼ね備えています
- 珪瑯は製造上、製品の端部に釉薬が定着しにくく、この部分が黒く見えることがあります。これは一層目の珪瑯面で、不良や不具合ではありません。また、製品によっては、工程上、製品の一部をフックで吊るして焼成するため、点状の吊り跡が残る、上記同様黒く見えることがあります。品質、及び使用上問題ありませんので安心してお使いください


Honey Ware® Honey Ware from japan since 1947


ハニーウェア
販売元 富士ホール株式会社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-4 03(3851)7241
http://www.fujiware.com/


 空焚きしないよう十分ご注意ください。万一空焚きしてしまった場合は、水をかけたり、水につけたりして急冷しないでください。急冷しますと珪瑯はガラス質のため、ヒビ割れなど破損の原因になりますので、自然に冷めるのを待ちください。


 鍋で揚げ物をするときは蓋をしなでください。また揚げ物をしているときは鍋のそばから離れないでください。気付かない間に油の温度が上昇し火災の危険があります。


 天ぷら等の揚げ物料理に際しては、油温を200℃以上にしなでください。また、500ml未満の油量で調理しなでください。


 加熱調理中や調理の直後は本体および取っ手やふたのツマミは熱くなっており、火傷の危険があります。必ずミトンや鍋つかみ等を使用してください。特に幼児の手に触れることの無いよう十分ご注意ください。

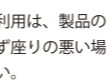
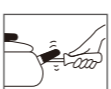
 取っ手、取っ手の付け根部、ツマミ等がヒビ割れや変形、破損をした場合使用を中止してください。また、ご自分で修理・改造してご使用になるのはおやめください。脱落による火傷など事故につながる恐れがあります。


 プラスチック・木製取っ手のついた鍋の場合、取っ手のネジがゆるむことがあります。取っ手がゆるんだ場合にはネジを締め直してご使用ください。取っ手がぐらついたままご使用になりますと、脱落による火傷などの危険があります。


 製品はコンロ（ごたく）の中央に置き、炎が底面より大きくならないよう火力を調節してください。炎が底面からはみ出した状態ですと取っ手が焦げたり、変形による破損、また取っ手の加熱による火傷の危険があります。2口以上のコンロを同時に使用するとき、隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないようご注意ください。


 製品はコンロ上の正しい位置に置いてご使用ください。不安定な状態でのご利用は、製品の脱落転倒をまねく恐れがあり大変危険です。ごたくのサイズと本体径が合わず座りの悪い場合は、ごたくの上にもち網などを置き、安定性を確保してからご使用ください。


 片手ハンドルの取付け構造により、すき間より水が入り込み、加熱時にふき出して火傷をする可能性がありますので、取り付け部分を長時間 水に浸けておくことはおやめください。





 電子レンジでは使用できません。使用すると電子レンジの故障や火災の原因となる恐れがあります。


 ストープの上でのご使用は厳禁です。ストープの上で使用しますと本体が倒れる恐れがあり、火傷の危険があります。


 プラスチックや木製の取っ手・ツマミのついた鍋は、オープンレンジで使用しないでください。取っ手・ツマミの破損の原因になります。（取っ手・ツマミが珪瑯および金属製の鍋は、オープンレンジでご使用可能です）

 満水の状態では使用しないでください。容量の表示は満水容量なので、その60%～70%を目安にしてご使用ください（機種によって実用量に違いがあります）調理物が吹きこぼれた場合、ガスの火を消してしまう必要があります。火災や火傷など事故の危険性がありますので、火加減や調理物の量に十分注意し、調理中はそばを離れないようにしてください。

 調理物（特にみそ汁等）によっては、調理中や再加熱（温め直し）の際に内容物が急にふき出したり（突沸現象）、場合によっては鍋が転倒して火傷や物品を破損する恐れがあります。特に赤だしみそ（だし入り味噌）や具の少なくなった味噌汁を再加熱（温め直し）する際は下記事項をお守りください。
①調理物をお玉でよくかき混ぜてから加熱をする ②強火で一気に煮立えない ③煮たてる際は、お玉でよくかき混ぜながら加熱する

 炒め物にはご使用できません。高温の炒め物は空焚きと同様の状態になり危険です。木製部品（ハンドル、ツマミ等）のある製品は、食器洗浄機での洗浄はできません。木製部品の変形・破損等の恐れがあり危険です

 スチールたわしや磨き粉、研磨剤の入ったクレンザーは使用しないでください。珪瑯面を傷つけることになります。ぶつけたり、高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。珪瑯はガラス質のため、製品表面にヒビ割れが生ずる恐れがあります。

 ＊ご使用後＊乾燥のための空焚きをしないでください。洗った後、乾燥させるために加熱すると空焚き状態になります。空焚きしますと、珪瑯層のヒビ割れや底面の溶解につながる危険性がありますので、絶対にしないでください。水分は柔らかい布などでふきとり、自然乾燥させてください。



プラスチック・木製取っ手、ツマミ付き鍋



満水の状態で使用しないでください。



炒め物にはご使用できません。

クッキングヒーターでご使用の際は ※お使いのクッキングヒーターの取扱説明書に則って正しくご使用ください

- 空焚きは絶対にしないでください。空焚きは極度に高温になるため、珪瑯が溶解しクッキングヒーター破損の原因となります
 - IH 調理器でご使用の際は、必ず中レベル以下からご使用ください。珪瑯製品は鉄とガラスできていますため、調理開始からレベル強で入力すると、鉄とガラスの熱膨張係数の差異により珪瑯層にダメージが生じひび割れや剥離が発生する恐れがあります
 - とくにIH 調理器では、鍋の中に水分以外の固形物（ゆで玉子やお餅など）が入っている場合は、必ず定期的にかき混ぜるようにしてください。固形物が鍋底にはりつき、部分的に空焚き状態となる恐れがあります
 - 効率よく加熱するために、底について水分はきれいに拭き取ってください
 - 鍋はヒーターの中央部に置いてください
 - 空焚きや落下などで変形やがたつきなどの異状が生じた場合は、ただちに使用を中止してください
- ※IH 調理器によっては、底径の小さいもの（ミルクパンなど）には反応しない場合があります。IH 調理器の取扱説明書をご確認ください



上手な使い方・お手入れについて

- スチールたわし、磨き粉などの使用は、珪瑯面を傷つけます。ご使用後は食器用洗剤を使い、スポンジでよく洗い、乾燥させてください
- 茹で物をする際は、ゆとりのある大きさのお鍋をご使用ください。水の量が少ないと食材がこびりつくことがあります
- こびりつき・焦げつきには・・・市販の重曹を使用して洗うとよく落ちます
- 焦げつきがひどいときは・・・一例として、鍋の焦げついた位置まで水を張り、重曹を適量（大さじ1杯位）入れ、沸騰させます。火を止め数時間おくと焦げが浮き上がってくるので、洗い流してください

リング巻き珪瑯製品のお手入れについて

- 製品端部を衝撃等から保護するために、ステンレスリングを巻いていますが、ご使用中にリング内に水分が入り、内部からサビが出る場合がありますので、長時間水の中に浸しておくことは避けてください
- ご使用後は、特にリング巻き部は柔らかい布などで水気を拭き取り、乾燥させてから収納保管してください
- サビが発生した場合は、出来るだけ早めにスポンジたわし等で洗い落としてから水分を拭き取り、よく乾燥させてください

珪瑯両手ハンドルについて

- 図の両手ハンドル内側の黒い穴は、珪瑯の焼付工程上必要な空気抜き穴です。調理後ハンドルが熱いうちに長時間水の中に浸しておくことは避けてください（ハンドル内部に水が入り、サビが発生する可能性があります）
- サビが発生した場合は、できるだけ早めにスポンジたわし等で洗い落としてから水分を拭き取り、よく乾燥させてください。
- ハンドル裏側の黒い線は製造上必然的に生ずるもので、不具合ではなく、使用上まったく問題ございません



木製部品を使用している製品について

- 長時間木部を水に浸けておかないで下さい。木製パーツ部の過度な水分吸収・乾燥により、変形や割れを誘発し、また片手ハンドル等の内部の金属製ネジの腐食により、破損や脱落を引き起こす可能性があります